



MONET TECHNOLOGIES INC.

【西川町】のってあべ利用分析結果

集計期間:2025/4/1~2025/12/26

2026/2/12



利用状況サマリ

MONET



総利用回数

1,877 回



実利用者数

110 名



総運行便数

1,184 便

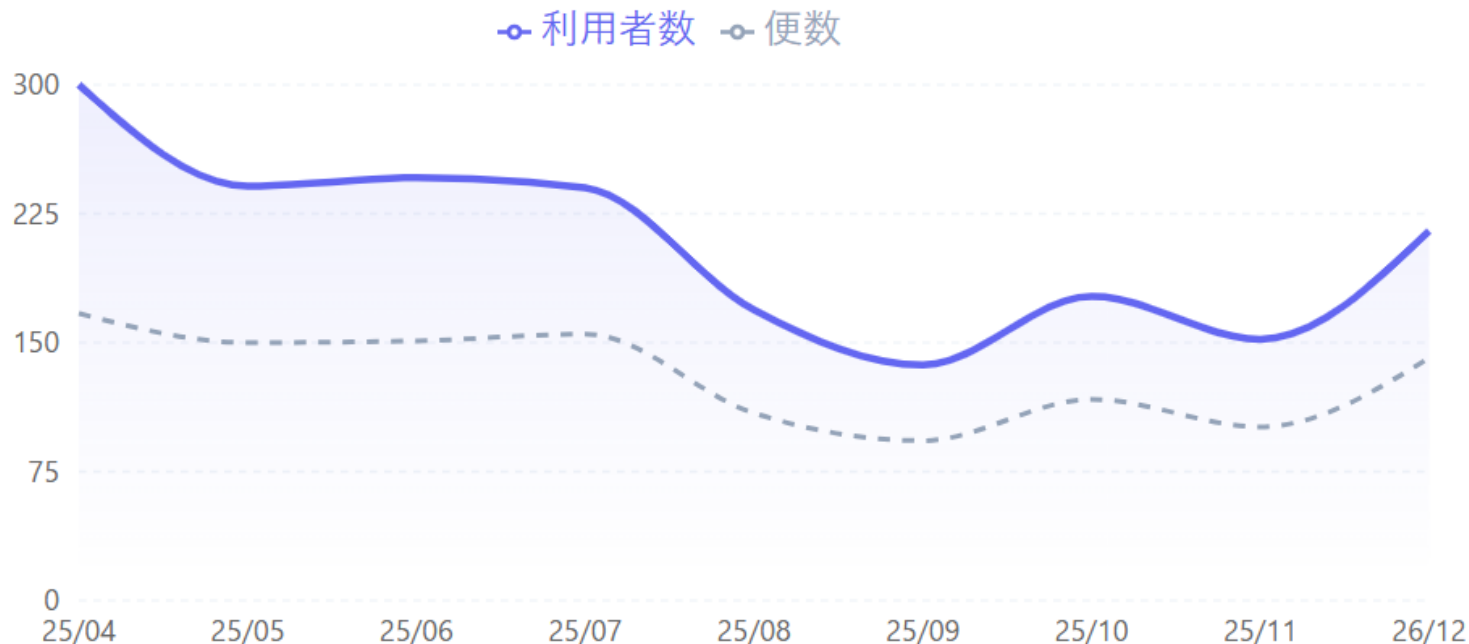


乗合率

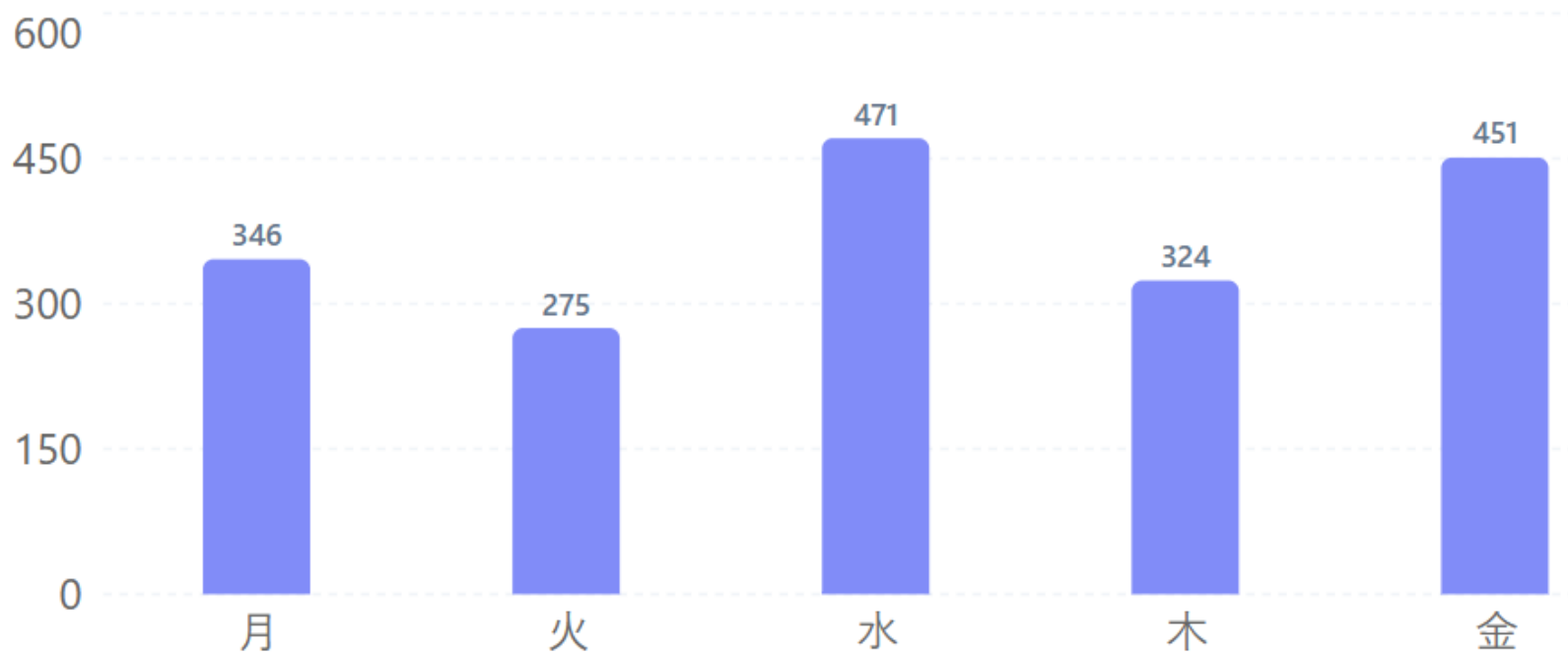
1.59 人/便

月別 利用者数推移

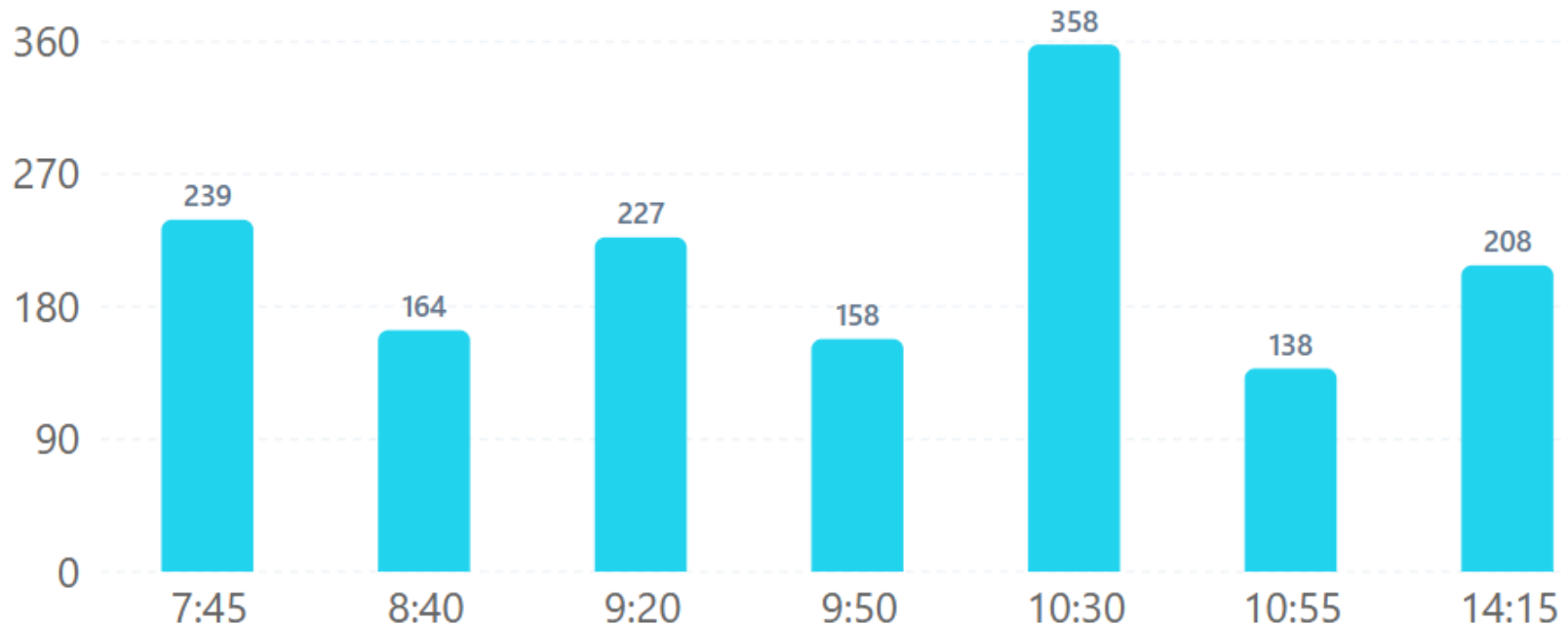
春から夏にかけて利用者数が減少(4月→9月 54%減)
→冬季に自家用車の代わりとしてののってあべを利用(推測)



曜日別 利用者数



時間帯別 利用者数



朝の行きの便(7:45, 9:20)を通院利用していた利用者が、
診察を終えて10:30便に集中する傾向

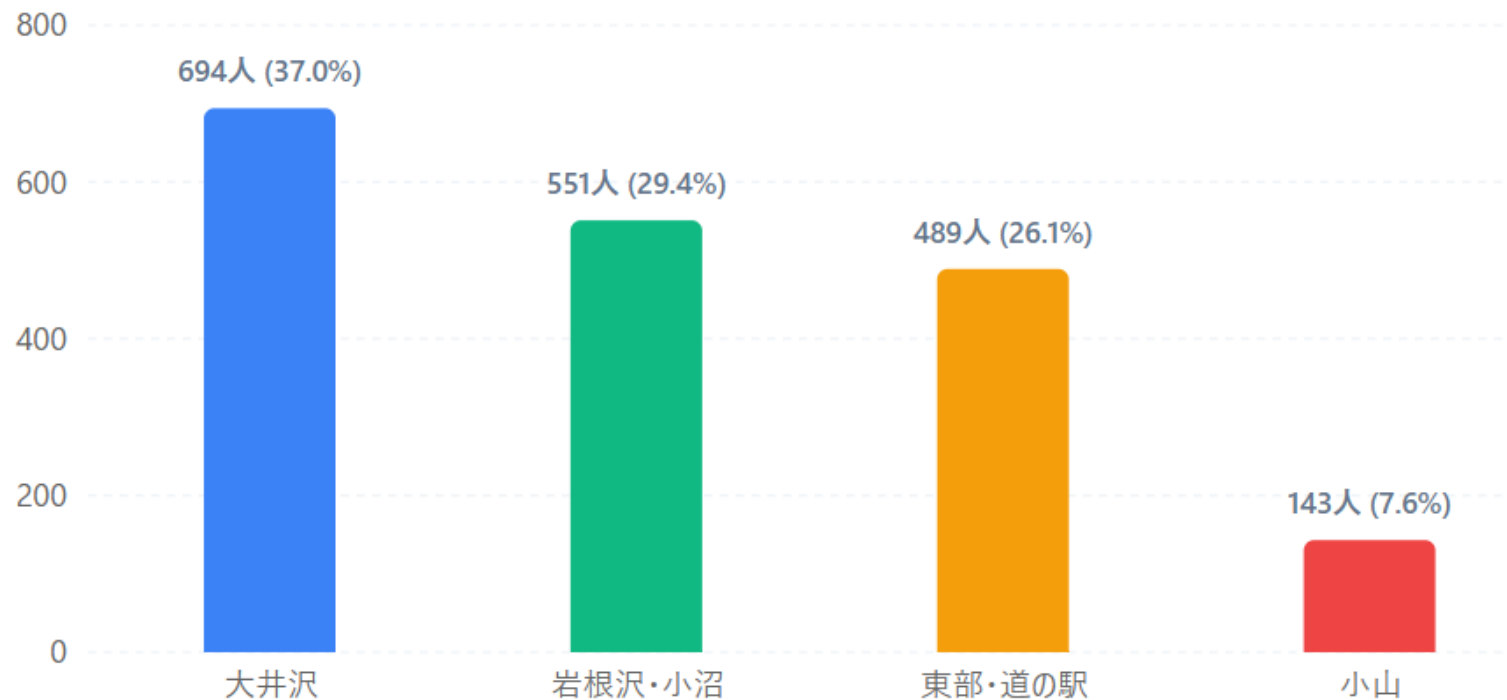
目的地別 利用者数 ※自宅を除く

1	町立病院	407人
	医療・福祉	40.0%
2	荒木接骨院	146人
	医療・福祉	14.3%
3	ケアハイツ	101人
	医療・福祉	9.9%
4	JA	65人
	買い物	6.4%
5	大沼歯科	61人
	医療・福祉	6.0%
6	薬王堂	38人
	買い物	3.7%
7	銘水館	18人
	行政・公共	1.8%
8	間沢セブン	14人
	買い物	1.4%
9	シブヤ	13人
	買い物	1.3%
10	マルシチ	9人
	買い物	0.9%

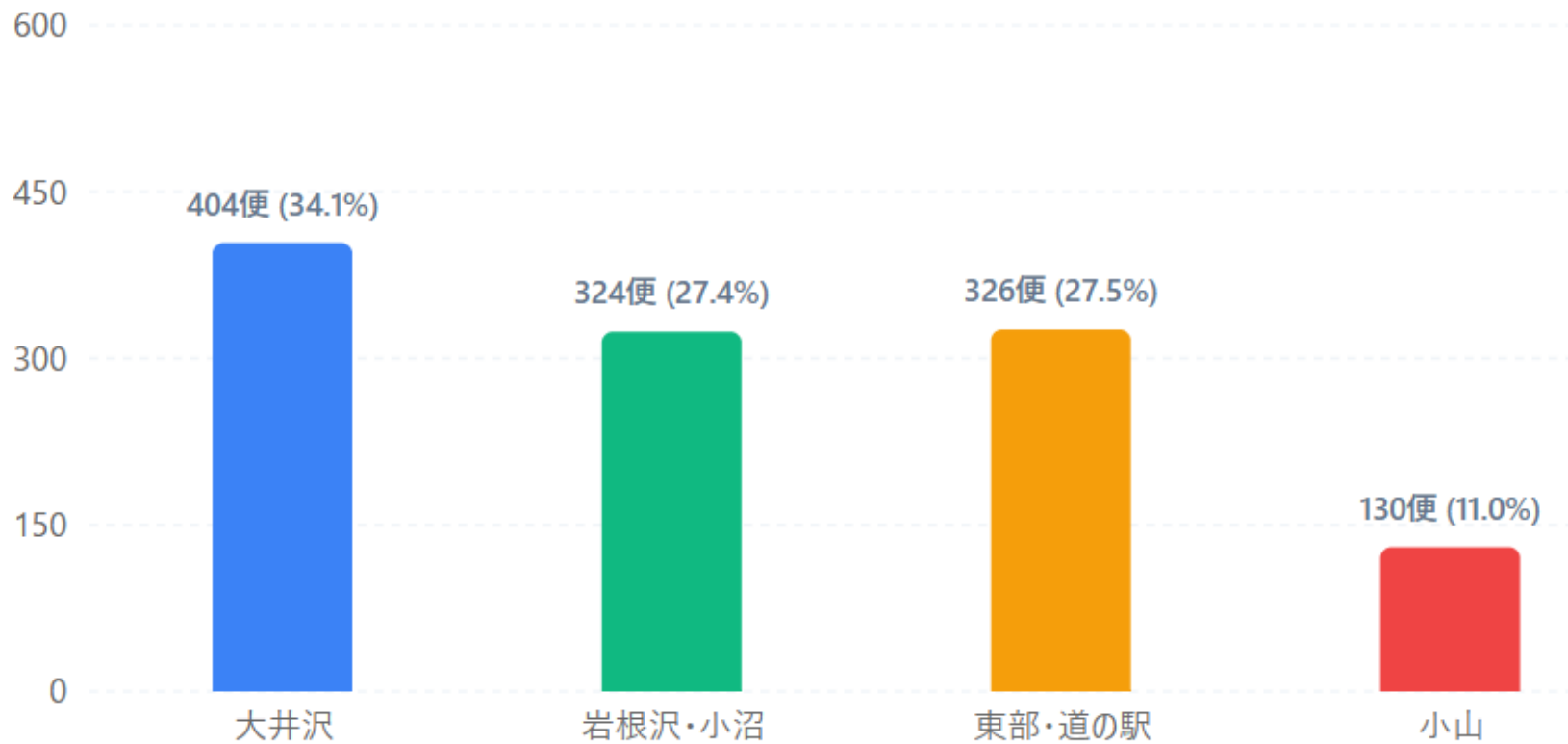


通院インフラとしての側面が強い
医療・福祉目的の割合が71.2%を占める。
特定の利用目的に偏っている。

ルート別 利用者数



ルート別 運行便数



ルート別乗合率

大井沢

1.72 人/便



岩根沢・小沼

1.7 人/便



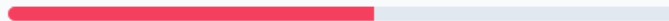
東部・道の駅

1.5 人/便



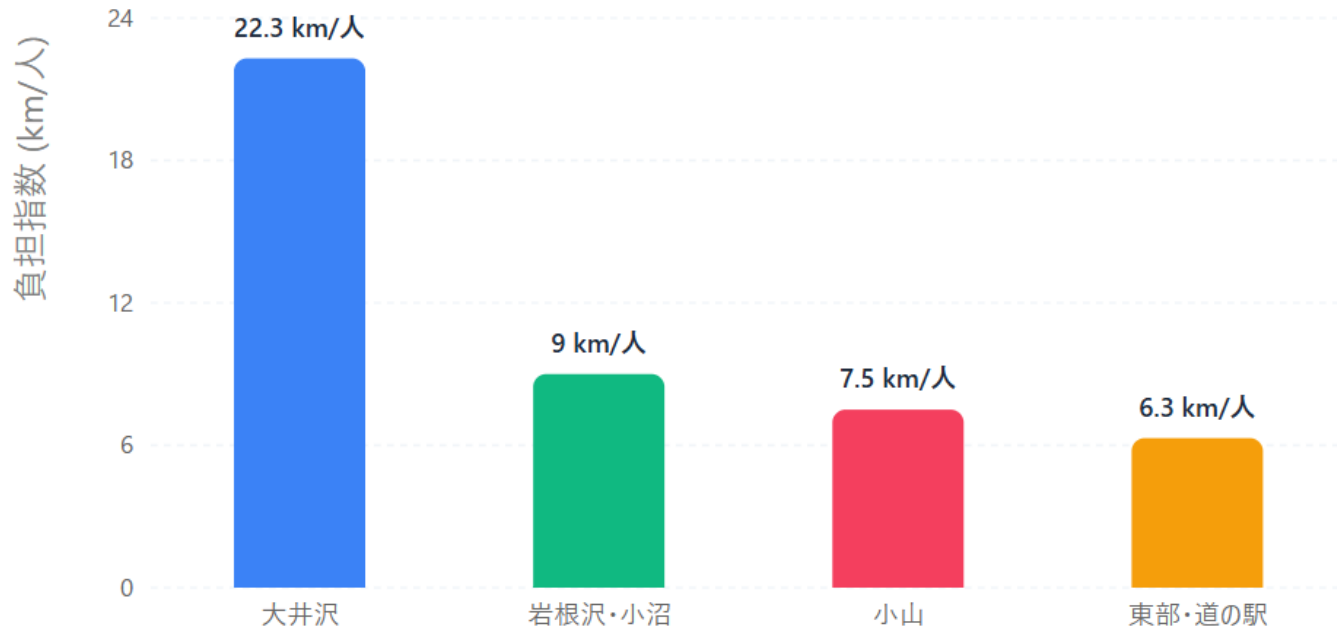
小山

1.1 人/便



小山ルートは、利用者数、乗合率ともに低く、利用促進や統合の検討が必要。

ルート別 運行コスト(距離/乗合率)

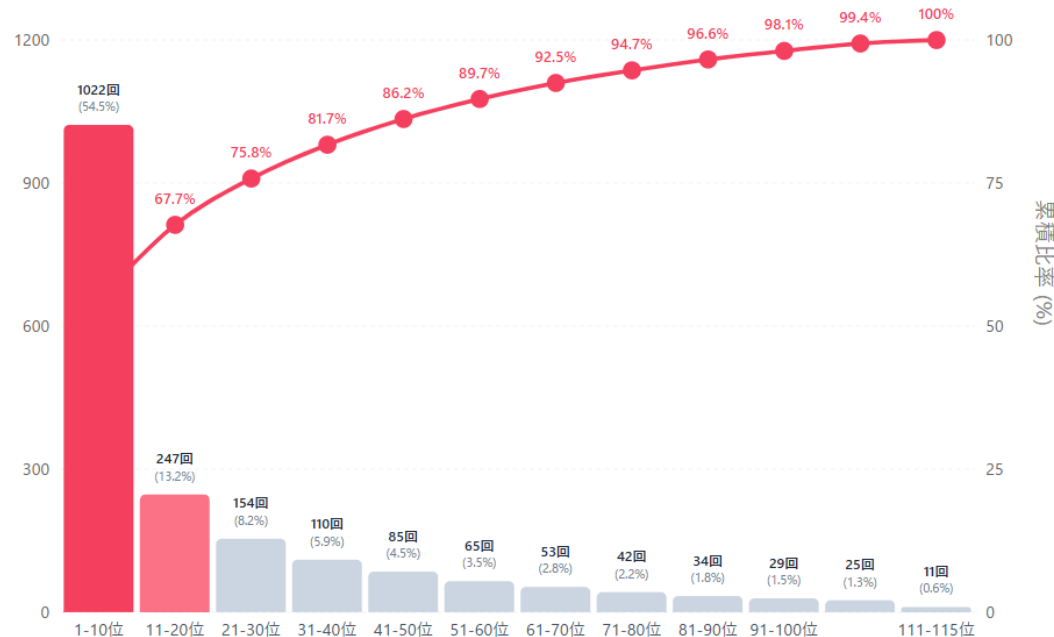


大井沢は高い乗合率であるが、圧倒的に移動距離が長く、財政負担が大きい

※大井沢を他ルートと同等の財政負担にするには、

乗合率を5人/便にするもしくは料金を880円にする必要がある。

利用者別利用回数分析



特定のユーザーが利用

上位10人で約54.5%と全利用の半分以上を占めている。

20人で約68%、30名で約76%と、特定のユーザーに高頻度で使われている。

拠点間移動の実態



拠点間移動の割合

全 1,877件中

2.1 %

39 件

主要な移動パターン (TOP 5)

とこしえ西川 → 薬王堂
福祉→買い物

12 回

荒木接骨院 → シバヤ
医療→買い物

6 回

町立病院 → ラフランス薬局
医療→薬局

4 回

JA → 薬王堂
買い物→買い物

3 回

薬王堂 → 道の駅
買い物→公共

2 回

自宅↔拠点の移動がメインの利用方法
拠点間移動の利用はわずか2.1%であり、
病院に行き、病院のついでに買い物のような、
”ついで利用”がほとんどされていない。

1 需要の季節変動

冬(ピーク)と夏(谷間)で需要が2倍以上変動。
高齢者が利用のほとんどを占め、夏場は自身で運転。
(推測)

→ 高齢者の免許返納促進(通年パス)や需要が落ちる
夏季を利用しての利用促進イベント実施

2 特定の利用者・目的地への偏重

70%以上が特定の利用者の通院目的となっており、
一般的な公共交通というよりは、医療・福祉輸送の
性質が濃く、高齢者の利用に偏っている。

→ 幅広い利用者に使われる利用促進が必要
周知活動や時間帯等の利用拡大など

3 コスト構造の是正

大井沢ルートで多く利用されている一方で、
最も距離が長く財政負担が大きい

→ 小山ルートの乗合率向上やついで利用の促進
により、町全体の平均負担(km/人)を減らす

EOF

